古河市小学校教育課程特例校（英語）教育課程編成の方針

１　特別の教育課程の概要

小学１年生から英語活動を行い、歌やゲーム、挨拶や簡単な会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しみ、英語によるコミュニケーション能力を高めるための素地を養う。本市で行う英語活動は、英語の学習が好きで、英語で挨拶や簡単なやり取りができる児童を育てることを目標とする。

【 低学年 】
・第１、２学年、１回 45 分（生活科の授業時数削減）　　年間 10 時間
・主に学級担任と外国語指導助手（ALT）との TT（ティーム・ティーチング）

【 中学年 】
・第３、４学年、週１回 45 分（外国語活動）　　年間 35 時間
・主に学級担任と外国語指導助手（ALT）との TT（ティーム・ティーチング）

【 高学年 】
・第５、６学年、週２回 45 分（外国語科）　　年間 70 時間
・主に学級担任と外国語指導助手（ALT）との TT（ティーム・ティーチング

２　学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

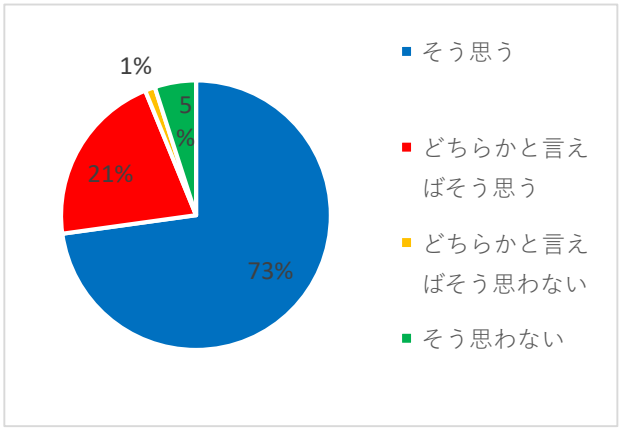
古河市では、「教育に関する大綱」を策定し、グローバル社会をリードする人材の育成、さらには、国際化、情報化に対応できる力を育成することを目指している。
その一環として、小学校、中学校９年間の切れ目のない外国語教育の充実のために、小学１年生からの英語活動を実施し、外国語教育の推進を図っていく。

３　令和８年度　古河市立八俣小学校の方向性

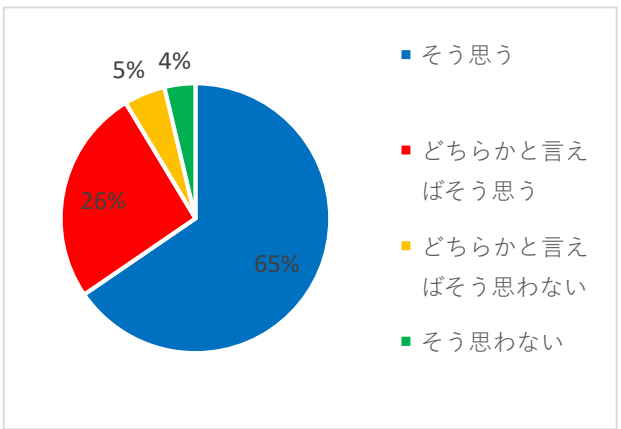
市の方針を受け、本校においては EnglishRoom の設営を含む環境整備や英語スペシャリストと学級担任、ALT との連携に重点的に取り組むことを通して、本校学校教育目標「**心豊かに　自ら学び　たくましい子**」の育成を目指していく。

令和７年度 英語活動に関する調査（１・２年生児童）【八俣小学校】

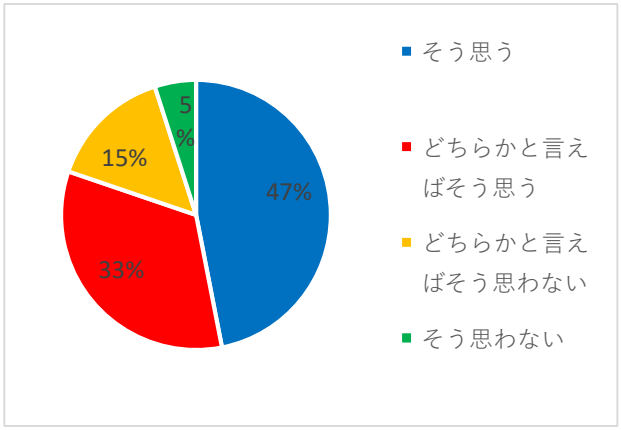
英語の勉強は、好きですか。



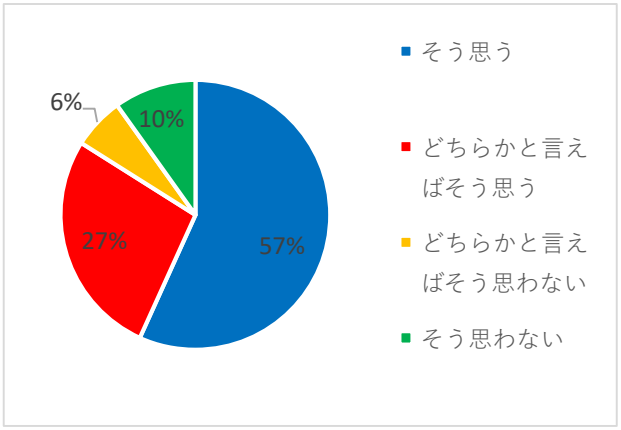
外国人の先生との勉強は、楽しいですか。



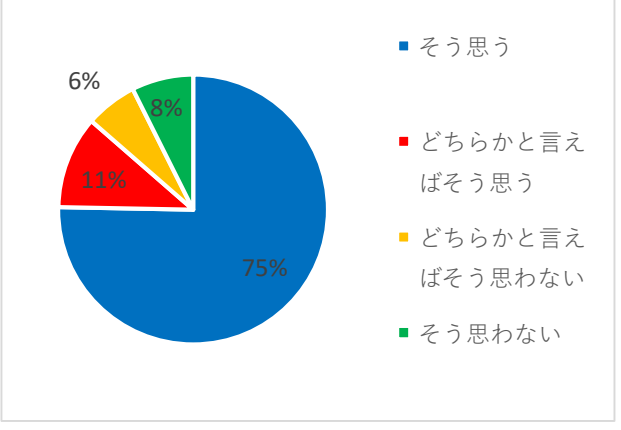
英語を進んで使うようになりましたか。



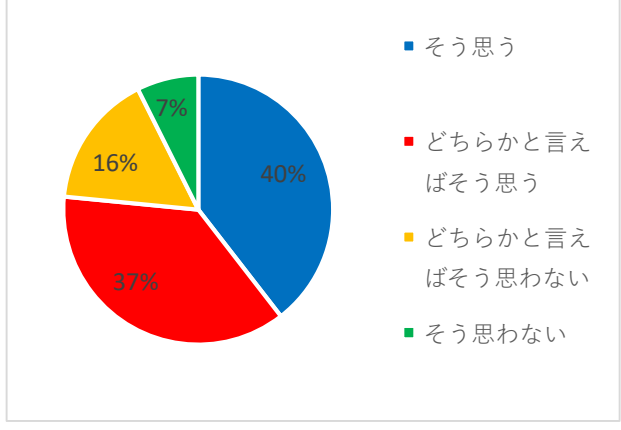
英語であいさつしたり、簡単な質問をしたり、答えたりすることができますか。



英語を話せるようになりたいですか。

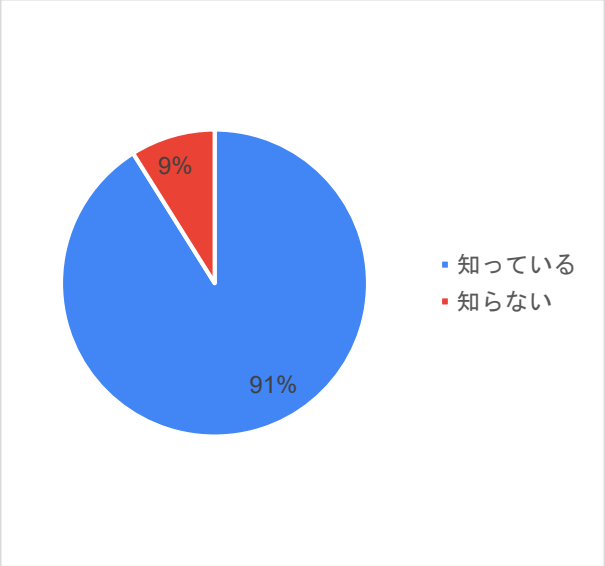


英語の勉強をして、外国について知ることができましたか。

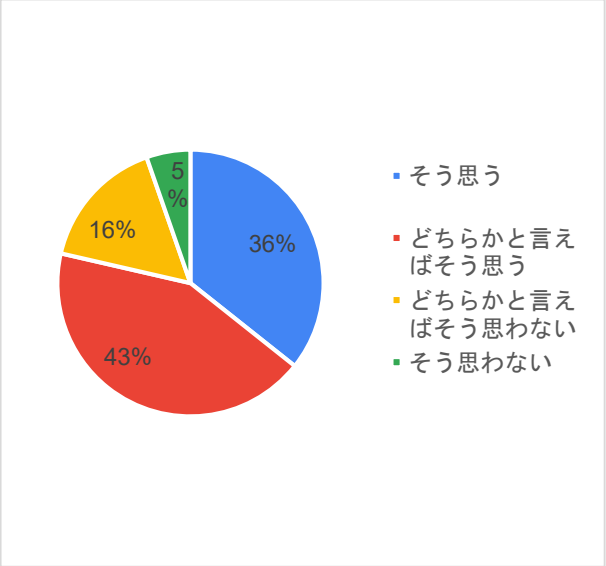


令和７年度 英語活動に関する調査（１・２年生保護者）【八俣小学校】

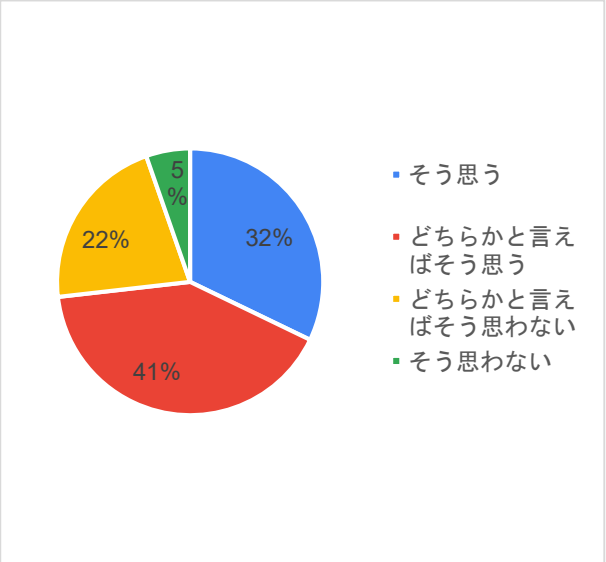
お子様が、学校で英語活動に取り組んでいることをご存じですか。



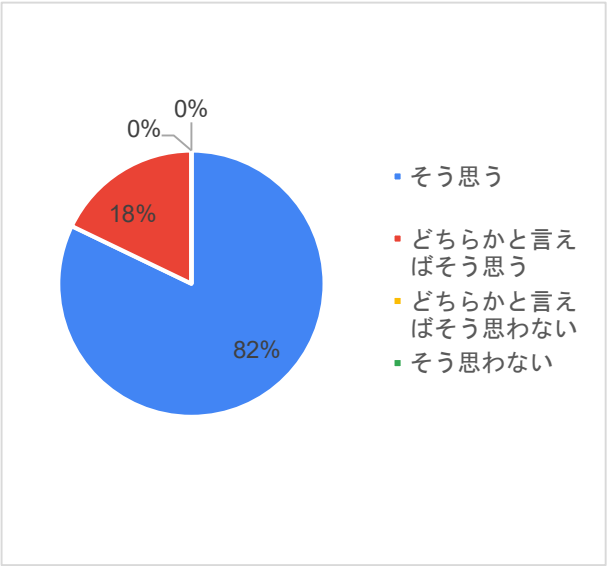
お子様は、英語に対して興味・関心が高まりましたか。



お子様に、英語に関する検定や資格を受けさせたいと思いますか。

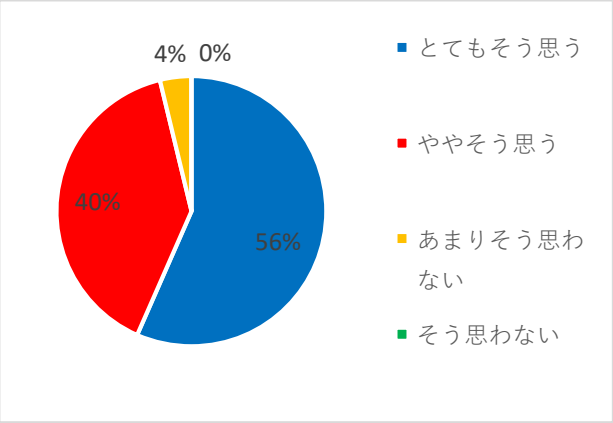


今後も、市による英語（外国語）の取組を続けてほしいと思いますか。

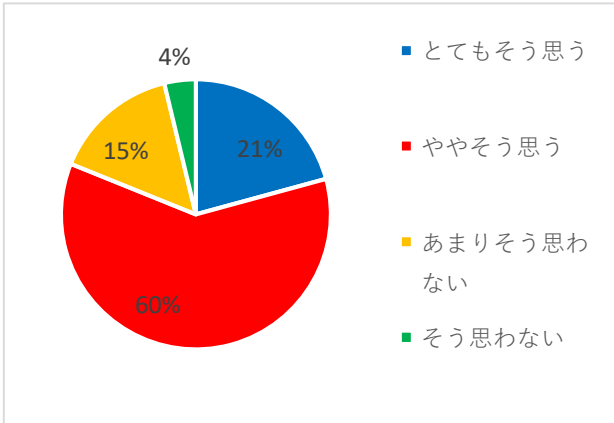


令和７年度 英語活動に関する調査（学校関係者）調査総数　53名

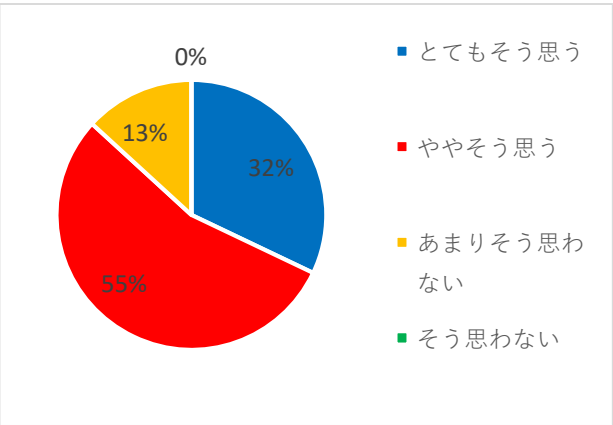
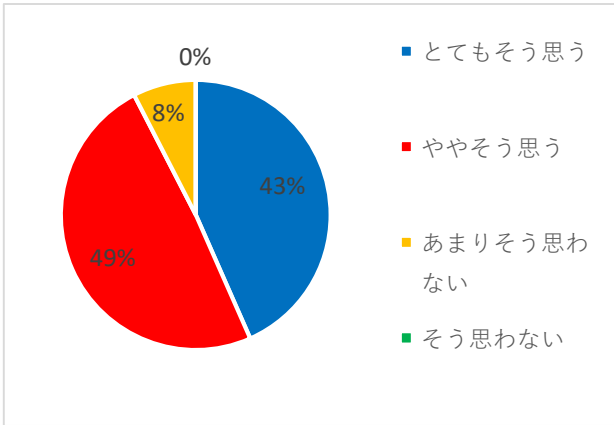
児童は、英語の学習を楽しんでいると思いますか。



児童が英語でやりとりする時間が十分に設定されていると思いますか。



児童は、英語の発音やリズムに慣れ親しんでいると思いますか。



児童は、次回の英語学習を楽しみにしていると思いますか。